

親のための10の心得

1 試合や練習を見に行ってあげましょう。

— 子どもはそれを望んでいます。

2 試合ではすべての子どもを応援してあげましょう。

— 自分の子どもだけではいけません。

3 調子の良い時だけでなく調子の悪い時を勇気づけてあげましょう。

— 批判してはいけません。

4 チームリーダーを尊重してあげましょう。

— 彼らの判断に圧力をかけないようにしましょう。

5 レフリーはインストラクターとみなしましょう。

— レフリーの判定を批判してはいけません。

6 子どもが参加することを刺激し、勇気づけてあげましょう。

— プレッシャーにならないように。

7 試合がエキサイティングだったか、楽しかったか、聞いてあげましょう。

— 結果だけを聞くことのないように。

8 サッカーにふさわしい、節度ある用具を準備してあげて下さい。

— 大げさになってはいけません。

9 クラブの仕事を尊重して下さい。

— 積極的に親のミーティングを持ち、どのような態度で臨むべきかを話し合いましょう。

10 忘れないで下さい。サッカーをするのはあなたの子どもです。

— あなたではありません。

サポーターとして応援するときのマナー

ベンチサイド（監督選手の席側）の反対側で応援する。

・・・やむを得ずベンチ側に居るときは、大きな声での応援はしない。

ベンチの中からだけ選手に指示が出せるルールなのです。

ベンチの外から、又は、ベンチサイドの反対側から、指示となる声をだしてはいけません。

声援は

「がんばれ」「負けるな」程度が良いでしょう。

「そこでシュート！」「ドリブルしろ！」「ライン上げろ！！」

などは指示になりますので言ってはいけません。

子供たちの判断を尊重しましょう。